

今回は、坂祝町・富加町・美濃加茂市表敬訪問の報告です。

◇ 坂祝町・富加町役場、美濃加茂市役所を訪ね、研究成果の報告をしました！

<訪問先>

坂祝町役場訪問 令和3年6月3日(木)

柴山佳也 坂祝町長

富加町役場訪問 令和3年6月7日(月)

富加町長 板津徳次

美濃加茂市役所訪問 令和3年6月17日(木)

伊藤誠一 美濃加茂市長

<訪問目的>

日本考古学協会高校生ポスターセッション優秀賞受賞、及び今後の研究計画の報告

<参加生徒> 石原伶緒 小原和也 河路康太 渡邊貫太

◇ 当日の様子

美濃加茂市と加茂郡町村は、人口減少・少子高齢化・グローバル化などの諸問題に対応するため、「みのかも定住自立圏」を結成し、防災や様々な分野での連携を強化しています。その定住自立圏構想のシンボリックな事業として、富加町・坂祝町・美濃加茂市の三市町は、「夕雲の城」プロジェクトを推進してきました。

「夕雲の城」プロジェクトとは、おもに三市町の領域を舞台に、戦国時代に実際に起きた「織田信長の東美濃攻略戦」に関する学術研究や、歴史資源を生かしたまちづくりの活動を指します。これまでに三市町では、歴史マンガの制作と発刊、様々な歴史イベントの企画など、斬新な取り組みをしています。そうした動きに呼応し、関高地域研究部では、東美濃攻略戦に関わる歴史研究やまちづくり提案を行っています。

このたび、そうした取り組みが評価され、日本考古学協会で表彰されましたので、ご支援・ご協力へのお礼もかねて、各町役場、市役所を訪問し、柴山佳也坂祝町長さん、板津徳次富加町長さん、伊藤誠一美濃加茂市長さんを訪問し、研究の経緯やこれからの抱負をご報告いたしました。

坂祝町長さんからは、旧中山道及び河川公園の整備のお話や、災害対策に万全を期しながらも川との共存をめざす町の方針についてうかがいました。富加町長さんからは、郷土の歴史の大切さを地域の方々にわかっていただくことがまちづくりの基本であるとのお話をうかがいました。美濃加茂市長さんからは、現在、計画中であるメディカルツアー構想の中に、歴史観光ツーリズムを取り込みたいとのご提案をいただきました。

関高校地域研究部は、今後も地元自治体や関係団体、個人と連携し、歴遺産を生かしたまちづくりに対し、積極的に取り組んでいきます。

(写真：上から坂祝町、富加町、美濃加茂市で撮影)

